鹿児島県地球温暖化対策推進条例に基づく

温室効果ガス排出量削減計画に関する対策実施状況調査票

■はじめに

県では，鹿児島県地球温暖化対策推進条例（以下，「条例」という。）第33条の規定により，温室効果ガス排出量削減計画を提出したもの等のうち，温室効果ガスの排出の量の削減等に取り組む事業者等を表彰することとしています。

本調査は，令和５年度に計画期間を終了した事業者等を対象に，表彰の検討に必要な取組状況を把握するために行うものです。

なお，表彰の選考については，本調査票に基づく取組状況のほか，条例第15条に基づく実施状況報告書の内容（計画期間における温室効果ガスの削減）も併せて勘案します。

■御記入上の注意

|  |
| --- |
| * 御回答は，**地球温暖化対策やエネルギー管理の責任者の方**にお願いします。
* **令和５年度末時点**での対策実施状況を回答ください。
* 本調査の御回答内容は評価・表彰の目的にのみ利用します。ただし，表彰対象事業者の御回答は，御了承をいただいた上で，地球温暖化対策の取組事例として回答の一部を公表させていただく場合がございます。その場合は，改めて御連絡します。
* 御回答は**令和６年１１月２２日（金）まで**に，当室までFAX又はE-mailでお送りいただくか，もしくは下記住所まで御郵送ください。
* 御不明点がございましたら，下記担当まで御連絡ください
 |

■本調査のお問い合わせ先

|  |
| --- |
| 〒890-8577　　鹿児島市鴨池新町10番1号鹿児島県環境林務部　環境林務課　地球温暖化対策室　　担当：池田電話： ０９９－２８６－２５８６FAX： ０９９－２８６－５５３９E-mail：　**epchikyu@pref.kagoshima.lg.jp** |

1. 貴事業者の概要について

# 本調査票のご回答の内容について，後日，照会させていただく場合がございます。ご回答者様の連絡先を以下にご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業者の名称 | 　 |
| 主たる事務所の所在地 | 　 |
| 担当者連絡先 | 回答責任者名 | 　 |
| 所属・部署名 | 　 |
| 電話番号 | 　 | ＦＡＸ番号 | 　 |
| E-mailｱﾄﾞﾚｽ | 　 |
| 主たる業種 |  | 中分類番号（二桁） |  |  |

1. 貴事業の用に供する船舶の台数について
2. 貴事業の用に供する船舶の種別ごとの台数についてご記入ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 船舶の種別 | ①客海運業に用いる船舶 | ②貨物海運業に用いる船舶 | 合計 |
| 低燃費船舶 | 1 | スーパーエコシップ |  |  |  |
| 2 | その他低燃費船舶 |  |  |  |
|  | 低燃費船舶のうちエコノミーモードを搭載している船舶 |  |  |  |
| 低燃費船舶の台数 |  |  |  |
| 低燃費船舶以外の船舶の台数 |  |  |  |
| 低燃費船舶以外の船舶のうちエコノミーモードを搭載している船舶 |  |  |  |
| 事業の用に供する船舶の台数 |  |  |  |

1. 貴事業者の主な取組みについて
2. 下記の取組み内容について，貴事業者の状況に該当する数字に一つ丸をつけてください。

| 項目 | 対策内容 | 取組内容 | 判断基準 | 実　施　済 | 一部実施済 | 未　実　施 | 非　該　当 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 一　般　管　理　事　項 | 推進体制の整備 | 省エネ活動推進のための体制は確立されていますか。 | ・事業者における推進体制と役割分担を示す資料がある。・活動記録がある。 | 1 | 2 | 3 | 　 |
| 船舶台帳の整備 | エンジン型式，保安部品，付属装置等を記録した船舶台帳はありますか。 | ・台帳が存在する。 | 1 | 2 | 3 | 　 |
| 船　舶　運　用　管　理 | エネルギー使用量等の把握 | 燃料使用量及び航行距離が船舶別に定期的に把握されていますか。 | 船舶ごとの運航距離，エネルギー消費量等のデータを定期的（月ごと，日ごと）に把握指定，記録している。 | 1 | 2 | 3 | 　 |
| 効率的な船舶運用 |  使用目的に応じた適正な船舶を使用し，運用管理を行っていますか。（貨物海運送業） | 輸送量に応じた船舶の大型化や貨物積載区域の増大等，効率的な輸送の推進を図っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 適切な航行ルートを選定していますか。 | 事前に海象及び気象を把握及び勘案して目的地までの効率的なルートを選定し，船員に伝える仕組みを整備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 運航中，潮流，海流及び風向を把握及び勘案して，効率的な航法を選択，船員に伝える仕組みを整備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 省エネルギー運航の推進 | 省エネルギー運航活用に関する体制，マニュアルが整っていますか。 | 省エネルギー推進に関する責任者の設置，マニュアルの作成等，省エネルギーに関する推進体制を整備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 船　舶　運　用　管　理 | 省エネルギー運航の推進 | 定期的に省エネルギーに関する教育等を実施していますか。 | 講習等を実施し，船員・従業員に対する省エネルギーの周知・教育を定期的に行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 減速航海の導入・実施をしていますか。 | 航海スケジュールの見直し，停泊時間の短縮等により，航海時間を最大化し減速航海を図っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| オートパイロット・エコノミーモードを活用していますか。 | オートパイロットのエコノミーモードを装備している船舶の導入や活用を行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 船舶整備 | 適切な維持管理 | 船舶の使用状況に応じた定期整備期間の見直しを行っていますか。 | 　 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 設　備　導　入 | 低公害・低燃費装置の導入 | エネルギー効率の優れた機器の導入を行っていますか。 | 排ガスエコノマイザーや二重反転プロペラ，インバーター制御電動機器等の導入。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 効率的な運航を補助する機器の導入を行っていますか。 | 運航支援システム，サイドスラスター等の機器の導入 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 照　明　設　備 | 照明設備の運用管理 | 照明器具の清掃を定期的（年１，２回程度）に行っていますか。 |  | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 時間帯，場所ごとに消灯管理がなされていますか。（給湯室，乗組員用便所等） | ・管理基準など省エネの観点に立った照明設備の運用・清掃ルールが定められている。・実施状況を確認できる記録がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 照　明　設　備 | 照明設備の更新等※右記以外の設備対策等は「4．記事業者の注力している取組みについて」に記載してください。 | 照明設備の省エネ対策（右記のいずれか）を導入しています。 | ・初期照度補正制御・昼光利用照明制御・人感センサー等在室検知制御・明るさ感知による自動点滅制御 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 高効率照明器具（LED等）（右記のいずれか）を導入していますか。 | ・高効率照明器具（Hｆ　インバーター蛍光灯，LED照明，メンタルハライドランプ）の使用・白熱灯の電球形蛍光灯又は電球形LEDへの交換・高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 空　気　調　和　装　置　・　換　気　設　備 | 湿温度の適正管理 | 室内の室温度を把握しています。 | ・記録簿がある。項目：冷房運転期間，暖房運転期間，中間期間（冷暖房非稼働時間 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 室内温度が，夏季28℃以上，冬季20℃未満に設定していますか。 | 室内温度を測定し，設定している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ブラインドを活用した空調負荷の軽減が行われていますか。 | ブラインドの有無で判断する。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 空調が不要な部屋の空調停止，空調・換気運転時間の短縮 | 居室の使用実態を考慮した調和空気の供給（運転時間短縮）がなされていますか。 | ・使用されていない部屋の空調停止についてルールを定めている。・ルール通りに空調を停止した記録がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 外気導入量の適正管理 | 室内の二酸化炭素濃度を把握していますか | ・記録簿がある。項目：冷房運転期間，暖房運転期間，中間期間（冷暖房非稼働期間） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 空気調和設備の保安管理 | 空気調和設備の管理実態（フィルターの清掃，換気量の調整等）は適切ですか。 | ・管理基準など清掃・補修の実態ルールが定められている。・ルール通りに清掃・補修を行った記録がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 熱　源　設　備　（　冷　凍　機　等　） | 冷却水設定温度の調整 | 冷却水設定温度を把握していますか | 目視確認している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 夏季冷房期間において，冷却水の設定温度が高めに設定されていませんか。 | 冷却塔のファン発停やバイパス制御の設定温度が，冷却機の許容範囲（冷凍機の冷却水温度下限値を下回らない範囲）で最小となるよう調整している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 熱源設備（冷凍機等）・熱搬送設備における設備導入等※右記以外の設備対策等は「4．記事業者の注力している取組みについて」に記載してください。 | 熱源設備（冷凍機）の省エネ対策（右記のいずれか）を導入していますか。 | ・冷水・冷却水変流量制御（インバータ制御等）・発停制御・台数制御・蓄熱システムの導入 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 熱搬送設備の省エネ対策（右記のいずれか）を導入していますか。 | ・配管・バルブ類の断熱・変風量制御。変流量制御（インバータ制御等）・発停制御・羽根車の外形加工・交換 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 海水冷却ポンプ等 | 配管等の漏れ箇所の特定及び修理 | バルブ類，配管やダクトの継手部等に漏れがないか定期的に点検し修理していますか。 | ・管理基準など点検・補修の実施ルールが定めている。・ルール通りに点検・補修を行った記録がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 海水冷却ポンプにおける設備対策等 | 海水冷却ポンプの省エネ対策を導入していますか。 | 減速航海時の出口弁開度調整等 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ボ　イ　ラ | 蒸気機関やバルブ類の断熱・保温 | 蒸気配管やバルブ等が断熱・保温されていますか。（断熱・保温が劣化していませんか。） | ・定期的に目視確認している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 空気比の管理 | ばい煙測定結果はありますか。 | ・記録簿がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ボ　イ　ラ | 空気比の管理 | 空気比は適正（1.2～1.3）に調整していますか。 | ・空気比を1.2～1.3に調整している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ボイラ設備群としての効率運転の実施（複数台数を運転する場合） | ボイラ群全体としての効率の計算を定期的に行っていますか。 | 給水量，給水温度，燃料消費量，蒸気圧力の点検記録に基づき，ボイラ群全体について効率の計算を定期的に行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ボイラ等における設備導入等※右記以外の設備対策等は「4．記事業者の注力している取組みについて」に記載してください。 | ボイラの省エネ対策（右記のいずれか）を導入していますか。 | ・予測運転制御・台数制御・設備本体の断熱強化（断熱材の更新等）・アキュームレーター（蓄圧器）の導入・廃熱利用による給水（給気）予熱器の導入 | 1 | 2 | 3 | 4 |

1. 事務所における取組み内容について，貴事業者の状況に該当する数字に一つ丸をつけてください。

| 項目 | 対策内容 | 取組内容 | 判断基準 | 実　施　済 | 一部実施済 | 未　実　施 | 非　該　当 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 一般管理事項 | 事業所に設置された台帳の整備 | 主要設備の最新状況を反映した機器台帳はありますか。 | ・機器台帳の整備・現在の状況に改訂している。・改訂履歴がある。 | 1 | 2 | 3 | 　 |
| 事業所全体のエネルギー使用量の把握，管理 | エネルギーの使用量が設備別（設備群別），工程別，使用目的別等で把握・推計されていますか。 | 機器台帳に記載されている設備（群）ごとにエネルギー使用量が推計されている。（蒸気・圧縮空気・冷水等の二次的なエネルギーを含む） | 1 | 2 | 3 | 　 |
| モーダルシフトの検討 | 輸送事業者との連携によるエネルギーの効率化 | 荷主，陸運運送業者との情報交換，連携の強化を行っていますか。 | 輸送情報に関する情報交換や関係者との連携の強化により，モーダルシフト（輸送量当たりの貨物の輸送に係るエネルギー使用量の削減）の検討を行っている。 | 1 | 2 | 3 |  |

1. その他，事務所における取組内容がありましたらご記入ください。

|  |
| --- |
| 記入欄 |

1. 貴事業者の注力している取組について

## 「３．貴事業者の主な取組について」で実施済とした対策や，その他の独自の対策の中で，令和５年度末までに特に注力した取組があれば詳細を記入してください。計画期間前の取組でも構いません。その場合は実施時期を併せて記入してください。

## 本設問は表彰の審査にあたって回答内容を詳細に拝見させていただきますので，できる限り具体的に記入をお願いします。なお，選考に当たっては，以下のような観点を重視することとしていますので，積極的に記入してください。また，これ以外にもアピールできる観点があればあわせて記入ください。

## ○  独自性：他の事業者には無い対策や，より踏み込んだ取組をしているか

## ○  先進性：取り組んだ対策が先進的か

## ○  効率性：取り組んだ対策が削減効果に対するコストや労力の観点で効率的か

## ○  実行性：組織的・全社的な活動であるか

## ○  継続性：継続的な事業活動に織り込まれているか

|  |
| --- |
| 記入欄 |

1. 課題について

## 貴事業者における脱炭素社会づくり（温室効果ガス排出量削減など）に対する取組の現状を踏まえ，現在，課題として挙げられるものがあればご記入下さい。

|  |
| --- |
|  |

**～　調査票は以上です。ご協力ありがとうございました。　～**